

しもとくサポート通信 No.2



平成 28 年 6 月 27 日 発行
下妻特別支援学校地域支援相談センター

前回のサポート通信では車いすのいろいろな種類についてお知らせしましたが、児童生徒に働きかける際には言葉かけが大切だと感じています。「車いすを押しますか?」「今から押します。」「スロープ上ります。」「エレベーターに乗ります。」など支援を受ける児童生徒の気持ちになって支援していきたいと考えています。今回のサポート通信では、本校のコーディネーターの役割および給食の特色についてお知らせいたします。

1 コーディネーターの役割について

(1) 本校の児童生徒への指導・支援  (2) 地域へのセンター的機能の推進 
下記に、各役割の詳細を表記しましたので、ご覧ください。

〈本校の児童生徒への指導・支援〉	〈地域へのセンター的機能〉
<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの相談への対応 児童生徒に関する校内教員からの相談への対応 校内外の関係者及び地域の関連機関との連絡調整 教育的支援（個別的教育支援計画等）の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の幼・小・中・高等学校の教職員からの相談・支援 地域の障害のある子どもおよびその保護者からの相談・支援 地域の関係機関等との連携 スクールクラスターにおけるコーディネート機能の一層の推進



※**スクールクラスター**とは、地域内の教育資源の組み合わせのことで、地域内の教育資源（幼・小・中・高等学校及び特別支援学校等、特別支援学級、通級指導教室）それぞれの単体だけでは、そこに住んでいる子ども一人一人の教育的ニーズに応えることは難しいこともあります。そこで、こうした域内の教育資源の組合せ（スクールクラスター）により域内のすべての子ども一人一人の教育的ニーズに応え、各地域におけるインクルーシブ教育システム（障害の有無にかかわらず共に学ぶ仕組み）を構築することが必要です。例えば、地域内の関係者でケース検討会議を行い特定の子どもの合理的配慮について検討したり、通級指導担当教諭が地域内の各学校を巡回指導したりするなどの取組みが考えられます。

※次回、インクルーシブ教育システムについてご紹介いたします。

2 しもとくサポート情報コーナー

自分に合った形態で食べられるおいしい給食

本校の給食は、児童生徒の摂食機能（嚥下り飲み込んだりする機能）に合った4種類の給食を提供しています。嚥下（えんげ）食・押しつぶし食・すりつぶし食はできあがった咀嚼（そしゃく）食を刻んだり、ミキサーにかけたりするのではなく、始めから別で調理するため、食感や味がよく、おいしいと評判です。嚥下力が弱いお子さんには普通のメニューを細かく刻み、同じものを食べさせたくりますが、口の中で食塊（しょくかい）が作りやすく、ばらついたまま飲み込むのでむせる原因になってしまいます。本校ではこのように一人一人の食べる機能に合った形態の給食をおいしく食べながら、食べる力の維持向上を目指し、歯科医と連携した摂食指導にも力を入れています。

	1. 咀嚼食（普通食）	2. すりつぶし食（後期食）	3. 押しつぶし食（中期食）	4. 嚥下食（初期食）
特徴	歯でかみ砕き、すりつぶして飲み込める大きさと形状	奥歯で軽くつぶせる硬さの食べ物。唾液と混ぜて飲み込める形状。	形があり、舌でつぶせる程度のやわらかさ	粒がなく、なめらかで、口に入ったらそのまま飲み込める硬さ
食物の例	 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">別調理</div>	やわらかく煮た野菜 ひき肉料理、木綿豆腐	絹ごし豆腐 プリン、ゼリー	ヨーグルト 野菜のペースト
調理の例		豚汁 	具を肉団子、豆腐、圧力鍋で煮た野菜で作る	すりつぶし食の具と汁を分け、具を粒ありペーストにする。

3 来月の予定

7月には「体験入学」や「学校公開」、「ふれあい教室」を予定しております。参加者の皆様が有益な情報を得たり、貴重な体験ができたりするように、職員一体となって準備をしております。本校までお気軽にお問い合わせください。

7月 5日（火）第1回 学校公開
7月 12日（火）第1回 体験入学
7月 21日（木）～8月 3日（水）第2回 体験入学（個別相談）
7月 22日（金）第1回 ふれあい教室



〈お問い合わせ〉 TEL 0296-44-1800 FAX 0296-43-9174（担当：コーディネーター 牛久）